## 静岡学園なごみ高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	副教材
言語文化	2	1年	東京書籍「言語文化」	
評価方法	添削指導	(計6回)	,試験(年2回),面接指導	算(年2回)での評価

## 指導目標

- 1 国語を適切に表現し、伝統的な国語の文化を触れながら的確に理解する能力を育成し、伝うあう力を高めるとともに、 思考力や想像力を伸ばすことができるようにする。
- 2 心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

## [評価の観点]

【主体性】・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。 【知識・技能】・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。

【思考・判断力・表現力】・論理的に考える力、表現する力、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことができる。

添削課題	単元名	指導項目·概要	スク―リング実施計画 (実施内容)
第1回	◆第1部 随筆 第1章 さくらさくらさくら 第2章 とんかつ	# は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	1)漢字の読み書きが適切にできているか。 2)語の意味を適切に理解し、且つ用いることができるか。 3)構成や内容に基づき主題を的確にとらえ、且つ文意を適切に理解しているか。 4)登場人物の心情を適切に理解しているか。
第2回	◆第2部 小説1 第1章 柳あをめる 第2章 冬が来た	<ul><li>◆柳あをめる</li><li>◆冬が来た</li></ul>	<ol> <li>1)漢字の読み書きが適切にできているか。</li> <li>2)比喩表現について適切に理解しているか。</li> <li>3)独自に用いられている表現技巧を通して、主題を的確にとらえているか。</li> </ol>
第3回	◆第3部 小説2 第1章 羅生門 第2章 夢十夜	◆羅生門 ◆夢十夜	1)漢字の読み書きが適切にできているか。 2)語の意味を適切に理解し、且つ用いることができるか。 3)構成や内容に基づき主題を的確にとらえ、且つ文意を適切に理解しているか。 4)登場人物の心情を適切に理解しているか。

添削課題	単元名	指導項目•概要	スク―リング実施計画 (実施内容)
第4回	◆第4部 古文 随筆 第1章 徒然草 今日はそのことをなさむ と思えど	◆徒然草 今日はそのことをなさむと思え ど	1)歴史的仮名遣いを的確に現代仮名遣いに読みかえることができるか。 2)古語の意味を適切に解釈できるか。 3)主語を的確にとらえ、且つ文意を適切に理解し、主題を把握しているか。 4)主題を理解し、それに基づくことわざを的確にとらえているか。
第5回	◆第5部 物語 第1章 伊勢物語 第2章 平家物語 木曽の最期	◆伊勢物語 ◆平家物語 木曽の最期	1)歴史的仮名遣いを的確に現代仮名遣いに読みかえることができるか。 2)古語の意味を適切に解釈できるか。 3)主語を的確にとらえ、且つ文意を適切に理解し、主題を把握しているか。
第6回	◆第6部 漢文 第1章 訓読の基本 格言 第2章 春望	◆訓読の基本 格言 ◆春望 ◆論語 八章	1)送り仮名・返り点・句読点に基づき、的確に訓読できるか。 2)置き字を理解し、的確に指摘できるか 3)語の意味を適切に理解し、且つ書き下し文に基づき文意を的確に把握しているか。 4)主題を理解し、それに基づくことわざを的確にとらえているか。
	第3章 論語 八章		